

令和 7 年度 第 3 回桜島支所管内の振興に係る地域懇話会概要

日 時	令和 8 年 2 月 26 日（木） 18 時 00 分～19 時 30 分
場 所	桜島支所 2 階大会議室
出 席 者	地域懇話会委員、地域活性化アドバイザー、事務局
会 次 第	○協議事項 ① 令和 7 年度事業の進捗報告 ・地域の飲食店等の連携による魅力発信 ・デジタル化による生活利便性の向上 ・桜島の魅力体感コンテンツの創出 ② 令和 8 年度の取組 ・地域の飲食店等の連携による魅力発信 ・デジタル化による生活利便性の向上 ・桜島の魅力体感コンテンツの創出
主な意見等	① 令和 7 年度事業の進捗報告 【各委員からの意見】 ○ さくら市で焼酎の振る舞いがあったが、来られる方はお酒を飲んでどういう動線で動くのか？また、貯蔵することで味が変わるのか？販売の計画があるのか？ ○ さくら市で焼酎の企画をしたことで、去年とは違う男性や高齢の方の来場があり参加の幅が広がって良かった。 ○ さくら市はスペースが狭くなっている感じがおり、屋上のデッキやロータリーなども活用してフェリーターミナル全体で出来れば良い。 ○ 飲食店の自走に向けた課題として、地域事業者でやるにはイベント会社がいないので、事業者の打合せなど運営面が難しい。 ○ iko てらすも丸 2 年経ち、利用者も多くなってきており、周辺に宿泊施設も 2 軒増えて良い関係性が築けているが、移住定住につながる実績が無いので、その取組が課題。 ○ スマホ教室は定着してきたが、これができるようになったからいいやとか何度聞いても分からないからもういいなど、意識の低下があるのではないかと。デジタルの支援は今から先も必要になると思う。 ② 令和 8 年度の取組 【各委員からの意見】 ○ 農業の六次産業化で言うと、現在作っているトマトのロスがあるが、割れたトマトをどう活かすかという中で、ミナトカフェで使ってもらったり旬彩館で加工して販売したりして取り組んでいる。ロスが無くなって良い。 ○ 小ミカンや大根の生産者は減ってきているが、最近は新しいものを作っており、その農産物を使ったソースの開発を進めている。今お客さんが多いのでステップアップさせていきたい。 ○ 桜島のものがおいしいと聞くと私もうれしい。めぐみ館の情報など桜島の情報を市街地側まで伝えることができると良い。 ③ その他 【各委員からの意見】 ○ 住宅内の空き家・空き地については、ネコやイノシシなどの棲み処になるので問題。廃校についても巨大な空き家ができるという感覚。イノシシやタヌキが住み着く可能性があるため新しい課題として提案したい。 ○ さくら市で酒造組合との繋がりが出来たが、桜島でさつまいもを作るとかは考えられないか？焼酎の原料にもなるし焼き芋もできる。

○ 農業も最近の物価高で資材が高騰している。農家への支援を何か考えているのか？宿泊施設や滞在型の民泊も増えている。民泊に対しての市の支援は何かあるのか？

○ 桜島で何をする？何もないねと言って帰っていく人もいる。観光の方は結構いるので観光案内所の2名だけでは対応しきれない。ターミナルに上手に案内できる場所があってもよい。地元中学校の生徒がQRコードの載った桜島のお出かけマップを作っていたが、そういう目新しいマップがあると地元飲食店とも繋がって良い。

○ 桜島でスポーツなどの大会がある時は全国から多くの人がある。住んでいる人がそういった情報を発信できるような仕組みができて桜島をPRできれば良い。

【桜島地域おこし協力隊より】

○ 現在活動している中で大根の切れ端や捕獲したイノシシの廃棄などロスが気になる。地域住民にとっては当たり前の事なのかもしれないが、協力隊から見ると加工して新たな販路を拓く可能性もあると思う。現在そういったことを情報収集しており、今後いろいろと考えていきたい。

○ 桜島地域は空き家が多い。まずは空き家の把握をして自分たちも地域に聞くなどして何ができるか考えたい。空き家をどうしていいかわからないという人にも分かりやすいセミナーを開催する。直接話すことで分かることもあると思うので、地域に聞いて行動していきたい。

【地域活性化アドバイザーより（地域づくり推進課代弁）】

○ さくら市は成功している取組だと感じるが、事業者の入れ替わりがあまり無いのでマンネリ化しないように考えていただきたい。また、マルシェで価格設定が高いものが売れ残っていたようなので、他の地域や他のマルシェも参考に価格設定について考えていただきたい。